

福島第一原子力発電所 2号機燃料デブリ試験的取り出し作業(2回目)で採取した燃料デブリの構外分析施設への輸送に向けた測定結果

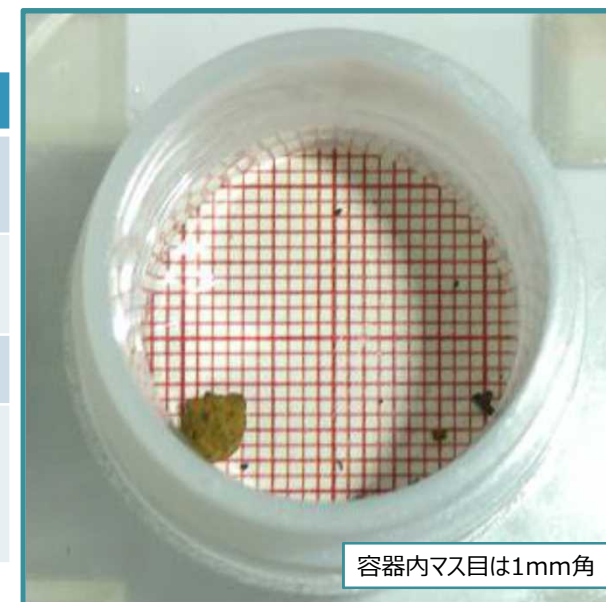
< 参 考 資 料 >
2025年4月24日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

- 2号機試験的取り出し作業(2回目)で採取した燃料デブリについて、構外分析施設への輸送に向け、2号機原子炉建屋内に設置しているグローブボックス(以下、GB)において、線量率や重量等の測定を行いました。(測定結果については、以下表を参照)
- ガンマスペクトル分析※1において、ウランと帯同傾向があるユウロピウム154が存在する可能性があることを確認しました。
- 引き続き、安全を最優先に作業を進めてまいります。

【採取した燃料デブリの構外分析施設への輸送に向けた測定結果】

測定項目		測定結果	測定日時	参考
表面線量率測定	ガンマ線	約0.1mSv/h (雰囲気線量と同等)	4月23日 午前10時40分頃 ～ 午前11時50分頃	GB外側表面から、運搬用ボックス表面まで、約20cmの距離で測定
	ベータ線	約4.5mSv/h		GB内で、蓋を開けた状態の運搬用ボックス表面まで、約20cmの距離で測定
重量測定		約0.2g		3g以下を確認
水素濃度測定		検出限界値 (10ppm※2)未満	4月24日 午前8時50分頃 ～ 午前9時00分頃	検出限界値未満を確認※3

※1:放出されるガンマ線のエネルギーと強度を測定し、含まれる核種を確認。
※2:ppm(parts per million)とは百万分率の単位であり、1ppm=0.0001%相当となる。
※3:検出時は、輸送期間内に水素濃度が可燃限界(40,000ppm)に至らないことを評価。



【試料容器内の燃料デブリ】
(4月23日午前11時10分頃撮影)